

## 2023年度国際学会・国際研究集会 発表学生援助（第1次）のお知らせ

連合農学研究科では、学生が海外の学会で発表することにより、プレゼンテーション能力を養い、最新の研究現場に接することで自らの研究力を培うことを目的として、以下のとおり、学生の国際会議での発表に対する補助を行いますので、ご応募下さい。

## 記

- 援助の範囲 : 国際学会で発表するために必要な移動費及び滞在費
- ・15万円を限度とする。ただし、別表に定める地域の場合は、別表に示した「移動費」を移動費分の限度額とする。移動費に加えて、学会発表のための「滞在費」は規定どおり算定する。
  - ・航空券はエコノミークラスを手配すること。

## 別表

単位：円

国名・地域	移動費限度額
大韓民国	50,000
中華人民共和国	60,000
台湾	60,000
モンゴル国	90,000
フィリピン共和国	70,000
タイ王国	
マレーシア	
シンガポール共和国	
カンボジア王国	80,000
インドネシア共和国	
ベトナム社会主義共和国	
ミャンマー連邦共和国	110,000
ブルネイ・ダルサラーム国	

- 対象となる学会 : 2023年度に国外で行われる国際学会で指導教員が認めるもの
- 対象学生 : 鳥取大学大学院 連合農学研究科に在籍する学生で、当該国際学会・国際研究集会において各人の研究テーマに関して、口頭発表またはポスター発表を行う者。  
他から、類似の経費の補助を受けていない者。
- 募集件数 : 5名程度
- 提出書類 :
1. 国際学会発表学生援助申請書（別紙様式：ホームページからダウンロード）
  2. 発表内容のアブストラクト
  3. 学会概要を記した印刷物（ホームページ上のアナウンスをプリントしたものでも可）
  4. 航空運賃の見積り
  5. 業績リスト（上記1.の申請書の次頁に、下記項目ごとに記入事例を参照に作成する）
    - (a) 学術論文発表（Impact Factor 値があるものは明記）Articleの冒頭頁を添付
    - (b) 国内外での学会発表（申請者\*が口頭発表またはポスター発表したものに限り）
    - (c) 審査中の学術論文（Impact Factor 値があるものは明記）途中経過を示す書類を添付

●提出先：鳥取大学農学部 連大学務係 (ag-rengaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

連大学務係宛の電子メールへ必要書類を1つのWord又はPDFファイルにまとめ、送付提出下さい。

●締切：2023年4月21日(金)

●審査：採否は提出書類をもとに連合農学研究科 代議委員会において決定する。

●旅行終了後の提出書類：

1. 出張報告：次の事項についてWordで作成し電子メールにて提出ください。(様式自由)  
用務, 用務地, 用務先, 出張期間, 出張概要
2. 航空券半券(全行程分・原本)
3. 宿泊の領収書(原本)
4. パスポート出入国スタンプページの写し
5. レポート A4用紙1枚(1200字程度, Wordで作成), 写真1~2枚(各々のデータファイル)  
※なお, レポートと写真は, 当連合農学研究科の【令和5年度年報】に掲載します。  
写真は, 本人がポスター掲示前に立っているものやポスター説明中の写真など, 学会の状況がわかるものが望ましい

提出先：鳥取大学農学部 連大総務係 (ag-rensou@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

〒680-8553 鳥取市湖山町南4-101 TEL：0857-31-5445, FAX：0857-31-5683

国際学会・国際研究集会 発表学生 援助申請書  
 Student Travel Grant to Present at International Conferences  
 Application Form

鳥取大学大学院 連合農学研究科長 殿

下記のとおり、国際学会での発表を行うため、国際学会発表学生援助を申請します。

(Date) \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 (Year/Month/Day)

氏 名 (Name) \_\_\_\_\_

入学年度 (Year of Entrance)	
所属専攻・連合講座名 (Course・Division)	専攻                      連合講座
配属大学 (Affiliated University)	大学
主指導教員名 (Major Supervisor)	
電子メールアドレス(e-mail address)	
学会名 (Conference name)	
主催団体 (Host society/group)	
開催国名、都市名 (Host city, country)	
開催会場 (Venue)	
開催日程 (Period of conference)	年    月    日～            年    月    日
国際学会の URL (Conference URL)	http://
発表方法 (Presentation type: oral or poster)	
発表のタイトル (Presentation title)	
航空運賃 (Airfare)	
旅程 (Itinerary)* from your home	
主指導教員の推薦 (Recommendation by Major Supervisor)	_____年____月____日 氏名： _____ (署名/Signature)

審査の結果、上記の申請を

採択

不採択 とします。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

鳥取大学大学院 連合農学研究科長

申請者氏名：大山寺栴美（だいせんじ・ますみ）

(a) 学術論文発表（Impact Factor 値があるものは明記）Article の冒頭頁を添付

- (1) Daisen-ji, M., Liu, K., Linser, P.J., Agre, P. and Rasgon, J.L. (2013) Organ-specific splice variants of aquaporin water channel AgAQP1 in the malaria vector *Anopheles gambiae*. PLoS One, vol. 8, no. 9, e75888. [IF:3.730; 5yIF=4.244] at 2012

(b) 国内外での学会発表（申請者\*が口頭発表またはポスター発表したものに限る，  
Abstract

冊子の表紙と該当箇所のコピーを添付）

- (1) Daisen-ji, M.\*. and Rendai, T. and: Water saving in irrigation at the field level. (Poster)  
The 8<sup>th</sup> International Conference on Mushroom Biology and Chemical Control. Portland, Oregon, USA  
(May, 2012)
- (2) 大山寺栴美\*・山口三郎・島根次郎・連大太郎：開花期前後に受けた過湿ストレスは登熟期の地上部と根茎の生育に影響する（ポスター）. 日本作物学会第 64 回講演会（岡山県福山市）  
(2012 年 9 月)
- (3) 大山寺栴美\*・隠岐四郎・連大太郎：解離胚細胞の空間的再配置における細胞運動性（口頭）.  
日本動物学会第 83 回大会講演会（愛知県豊橋市）（2013 年 10 月）

(c) 審査中の学術論文（Impact Factor 値があるものは明記）

途中経過を示す書類を添付すること

- (1) Daisen-ji, M., Nagae, T., Ohmura, W. and Azuma, M. Aquaporin water channel in the salivary glands of the Formosan subterranean termite *Coptotermes formosanus* is predominant in workers and absent in soldiers. (under the major revision)  
Physiological Entomology [IF:1.417; 5yIF=1.460] at 2012